

中央中学校区小中一貫教育推進事業

1 研究主題 小中9年間の学びと育ちの円滑な接続を目指した連携のあり方の研究

2 研究への取組方針

小中9年間の学びと育ちの円滑な接続を目指した連携により、小学校から中学校へ進学する児童がスムーズに中学校生活になじめ、「中一ギャップ」を解消できるようにする。そのために、小中の教職員が相互に理解を深める取組と、児童が中学校生活にスムーズになじむための取組の、両面からの取組を行っていく。

3 研究への取組・研究経過

(1) 教職員の相互理解を図る取組

① ねらい 各校の授業参観及び合同研修会を行い、小中の教員間の情報共有を図る。



小中合同研修会におけるリモート会議のようす



Teamsを使った会議の画面

② 内容 小中連絡会（授業参観と話し合い）を6月21日に中学校、2月28日に小学校で行った。小中合同研修会を8月27日に、「学力」・「体力」・「生活」の3つの部会に分かれて、リモート会議を行った。

(2) 児童生徒に対する取組

① ねらい 中学校教員による出前授業・新入生ガイダンス及び新入生体験入学・部活見学を行い、小学生の中学進学への不安



出前授業（体育）

を解消し、部活動及び授業への関心・意欲を育て、中学校生活をより豊かなものにする。さらに、入学後、新入生オリエンテーション・部活見学・仮入部を行い、中学校への適応を助ける。

② 内容 出前授業は11月24・25日に奥富小で体育と数学、入間川東小で体育と社会を行った。新入生体験入学・部活動見学はコロナ対応のため本年度は中止となった。新入生ガイダンスは3月4日に入間川東小で、3月16日に奥富小で行った。入学後には、生徒会が中心となって、新入生オリエンテーション・部活見学・仮入部を行う。



新入生オリエンテーション

4 成果と課題

小中連絡会では、各校の授業を直接参観することにより、課題と情報を共有することができた。小中合同研修会では、「学力」では、各校の埼玉県学力・学習状況調査の結果分析と課題解決の手立てを、「体力」では、各校の体力課題分析・解決への取組とタブレットの活用実践を、「生活」では、中学校のルールの示し方と不登校生徒への取組を、それぞれ各校の状況と課題および課題解決の手立てについて、3校の教職員間で共通理解を図ることができた。出前授業では、児童が中学校の教員の授業を体験することにより、中学校の授業への不安を軽減することができた。また、教員も児童の授業でのようすを知ることができた。新入生ガイダンスでは、新入生保護者会で使用したパワーポイントを児童にもわかりやすく手直しをし、直接中学校教員が説明することにより児童が中学校生活について小学校との違いや中学校生活を有意義に送るための心構えなど、つくることができた。生徒会による新入生オリエンテーション・部活見学・仮入部により先輩の姿にふれることで不安の解消に貢献することができた。

来年度は、今年度の取組を継続し、より相互の共通理解を図り、さらにコロナ対応を工夫しながら、児童との直接的な関りを深めていくことが課題である。